

2010年代:日本の課題～意識の拡大



❖ 自分の価値観を持つ

- マスコミに惑わされない
- 一匹狼になることを恐れない
- 自分の思考と行動の軸を持つ
- 横並び意識を捨てよう
- 海外の評価を鵜呑みにしない

❖ 自分の足で立つ(自立)

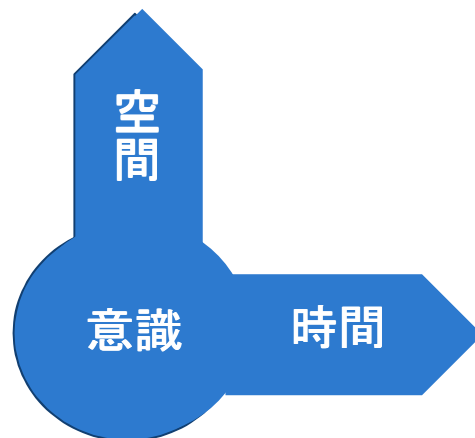
- 親、企業、国、アメリカに頼らない
- 将来の自分はいまの自分が支える
- 「津波てんでんこ」の教えを学ぶ
- 企業も個人もサバイバル力を発揮

❖ 「地球が我が家」の発想

- 「日本は違う」、「ここは日本だから・・・」と言わない
- 「海外では・・・」、「世界の・・・」と言わない
- 優良企業と優良人材の輸出国となろう
- 世界の成長を取り込むのではなく、成長に貢献する
- グローカル！（OSはグローバル、アプリはローカル）

❖ 長期的な視点で思考をする

- いまの自分に都合良いことを良いことと思わない、いまの自分に都合悪いことを悪いことと思わない
- 真摯な努力は必ず最終的には最善の結果をもたらす
- 成果を得るには長い時間がかかる
- 知識は体にしみ込んで初めて意味がある



2010年代:日本の課題～教育と思考形態



❖ 三歳までにみっちり仕込むこと*

- 「ありがとう」、「ごめんなさい」は必ず言う
- 笑顔で明るくあいさつする
- 約束は守る、実行できない約束はしない
- 嘘を言わない、ごまかさない
- 自分がされて嫌なことは絶対にしない

❖ グローバル人材の育成

- 日本語＋英語＋1は必須
- 外国語は最長2年で学ぶ
- とにかく通じればよい(文法は最後)
- 相手をファースト・ネームで呼ぶ
- 世界的視野で日本の歴史と文化を語れるようになる

❖ 堂々と金儲けするマネー・投資教育

- お金は感謝のしるし
- おカネはご縁のネットワークをつなぐ
- 投資で時間の使い方、生き方を学ぶ
- おカネの四つの使い方
- おかげさまの心で永代投資

❖ 思考形態を進化させる

- ○×、マルチョイの思考をやめよう
- あら探しをやめよう
- 根拠なき楽観(なんとかなるだろうという発想)をやめる
- バンドエイド(「とりあえず」)的治療は問題を解決しない
- 問題の本質を直視し、解決のための痛みは受け入れる
- 否定的言葉を口にしない
- 間違ったらそれを認め修正する
- トレードオフを理解する(駄々っ子の態度をやめる)

❖ 議論に上達する

- 相手を尊敬し、人格を重んじる
- 感情より理性優先
- 会議においては解決策を共に模索する建設的議論に徹する
- 議論のプロセスは共同作品と心得る

*(参考:日経プラス1(2012年1月7日付、「人間関係 よりよくするには…」より)